

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 7 巻第 18 号

第 18 週( 4月30日 ~ 5月6日)

発行年月日:平成19年(2007年) 5月11日

発行 :滋賀県衛生科学センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

### 今週の感染症発生動向

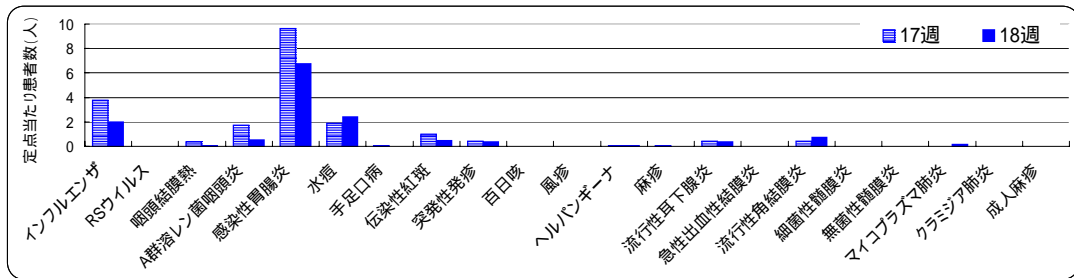
#### 感染性胃腸炎の発生は東近江保健所管内で増加傾向持続!

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、平成19年第17週(4月23日~4月29日)の報告数よりさらに大幅に減少しています。先週より増加した疾患は水痘、流行性角結膜炎およびマイコプラズマ肺炎で、その他の疾患については減少または横ばいとなっています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

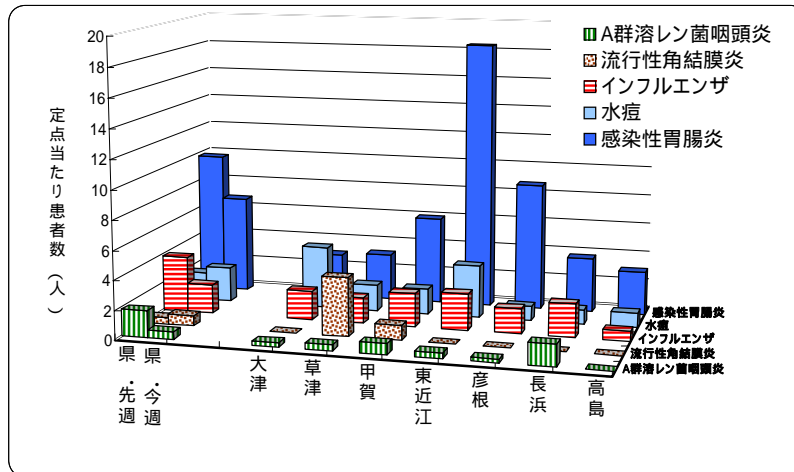
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、甲賀保健所管内における伝染性紅斑に警報が発生しています。また、大津保健所管内における水痘に注意報が発生しています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核 5名ならびに五類感染症のアメーバ赤痢 1名、ウイルス性肝炎 1名および後天性免疫不全症候群 1名の届出がありました。

#### 定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

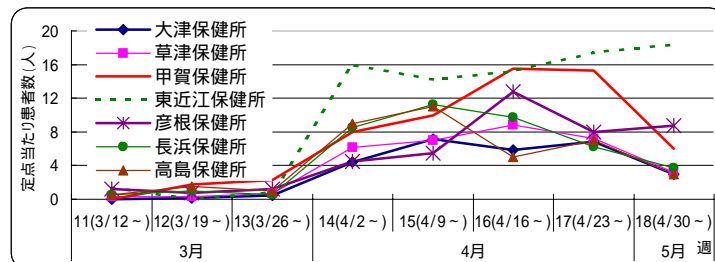


#### 上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第18週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、感染性胃腸炎、水痘、インフルエンザ、流行性角結膜炎、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。感染性胃腸炎の発生は東近江で数週間連続して増加しています。

#### 感染性胃腸炎の保健所管内別発生状況(平成19年第11~18週、H19.3.12~H19.5.6)



第11~18週の発生状況はグラフに示すとおりです。また、第18週の年齢別発生割合については、1~4歳が全体の54%を占めています。全国の病原体情報では、ロタウイルスによる感染性胃腸炎が増加しています。保育園、幼稚園等における予防に対する十分な注意が必要です。

## 1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

平成18年12月8日に感染症法の一部改正が公布され、平成19年4月1日から施行されています。同法に基づき結核は二類感染症に、またコレラ、細菌性赤痢は三類感染症に分類されています。

感染症類型	疾患名	報告数 (18週)	累積報告数		平成18年報告数	
			滋賀 (18週)	全国 (18週)	滋賀	全国 <sup>(※1)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	5	23	1091	-	-
三類感染症	コレラ	0	0	5	1	47
	細菌性赤痢	0	<sup>(※2)</sup> 1	167	<sup>(※3)</sup> 6	483
	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	264	54	3,910
四類感染症	E型肝炎	0	0	18	2	70
	A型肝炎	0	0	58	21	316
	レジオネラ症	0	1	130	11	508
五類感染症	アメーバ赤痢	1	6	247	8	738
	ウイルス性肝炎	1	1	54	0	275
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	54	0	177
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	36	6	107
	後天性免疫不全症候群	1	4	414	8	1,301
	ジアルジア症	0	0	16	1	87
	梅毒	0	0	166	4	625
	破傷風	0	0	20	1	115
	急性脳炎	0	1	69	1	160

\*1:平成18年報告数は、平成19年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分です。

\*3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分2件を含みます。

### 全国における全数報告感染症の発生状況 - 第18週(4/30～5/6) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: つつが虫病 2例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 4例
二類感染症: 結核 67例	レジオネラ症 6例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例
三類感染症: コレラ 1例	五類感染症: アメーバ赤痢 4例	破傷風 1例
腸チフス 1例	梅毒 3例	
腸管出血性大腸菌感染症 23例		

## 2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点<sup>\*</sup>から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。<sup>\*</sup>疾患により定点数は異なります。

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成19年第13～18週、3/26～5/6)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)										
	13週	14週	15週	16週	17週	18週	週				
	(3/26～)	(4/2～)	(4/9～)	(4/16～)	(4/22～)	(4/30～)	14	15	16	17	18
インフルエンザ	21.72	8.30	5.60	5.08	3.77	2.00					
RSウイルス感染症	0.06	0.13	0.06	0.09	0	0					
咽頭結膜熱	0.19	0.13	0.28	0.31	0.38	0.06					
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.31	0.63	0.47	0.94	1.75	0.52					
感染性胃腸炎	6.53	7.81	9.13	10.38	9.63	6.74					
水痘	1.06	1.41	1.97	1.38	1.91	2.39					
手足口病	0.13	0.06	0.09	0.19	0.06	0					
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.91	1.22	1.78	1.06	0.97	0.45					
突発性発しん	0.44	0.47	0.38	0.94	0.41	0.35					
百日咳	0	0	0	0	0	0					
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0					
ヘルパンギーナ	0.03	0	0.03	0.03	0.06	0.03					
麻しん(成人麻しんを除く)	0.03	0	0	0	0.03	0					
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.31	0.63	0.25	0.19	0.41	0.35					
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.57	0.43	0.71					
細菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0	0.14					
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
成人麻しん	0	0	0	0	0	0					

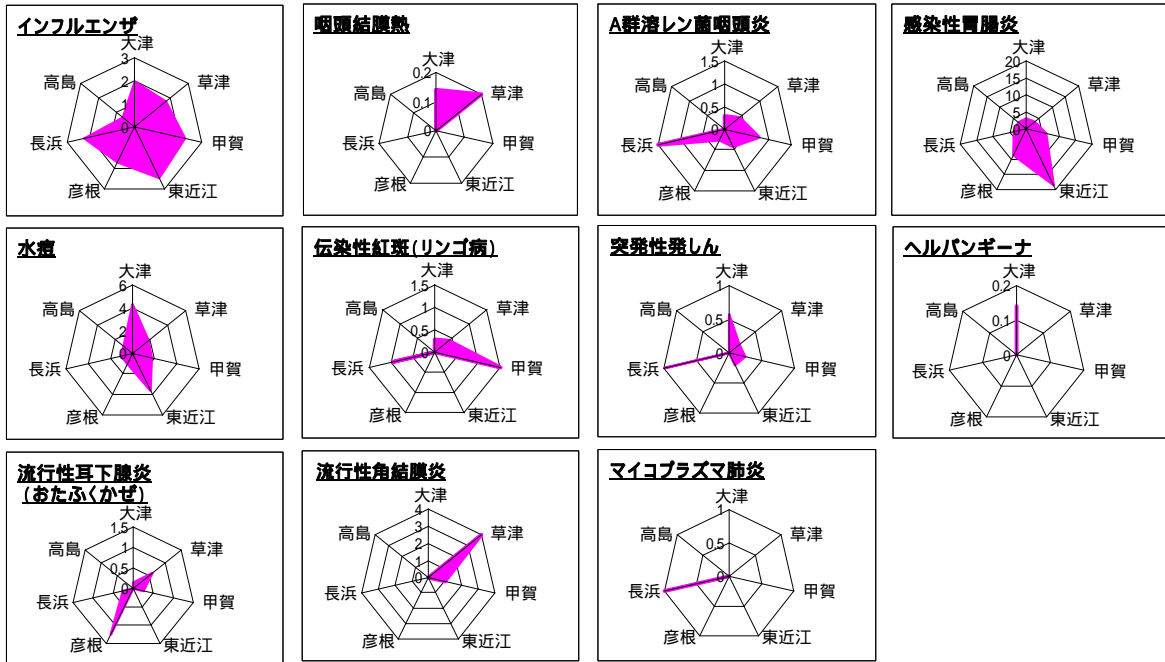
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第18週, 4/30~5/6)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況(県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	2.00	2.00	1.78	2.29	2.50	1.71	2.29	0.67	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.06	0.14	0.20	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.52	0.29	0.40	0.75	0.40	0.25	1.50	0	
感染性胃腸炎	6.74	3.00	3.20	6.00	18.40	8.75	3.75	3.00	
水痘	2.39	4.29	1.80	1.75	3.60	1.00	1.00	1.00	
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.45	0.29	0.40	1.50	0	0	1.00	0	
突発性発しん	0.35	0.57	0.20	0.25	0.20	0	1.00	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.14	0.60	0.25	0	1.25	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.71	0	4.00	1.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

■ は定点当たり患者数が先週より増加    
 ■ は警報発生中    
 ■ は注意報発生中

0 2 4 6 8  
定点当たり患者数(人)

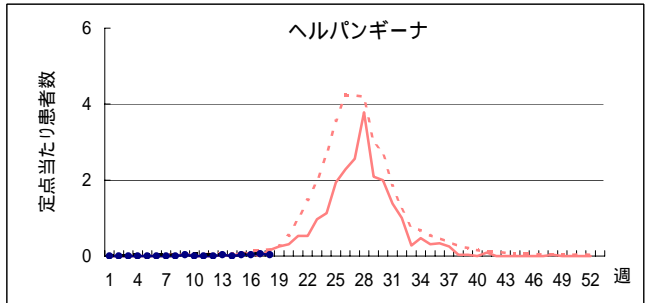
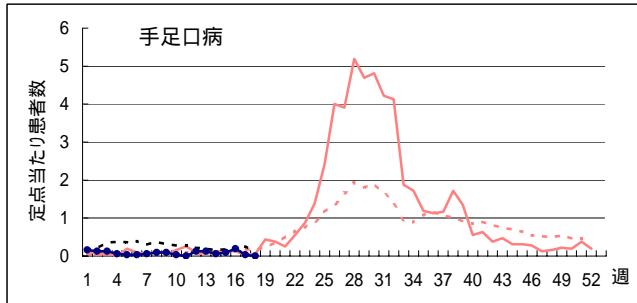
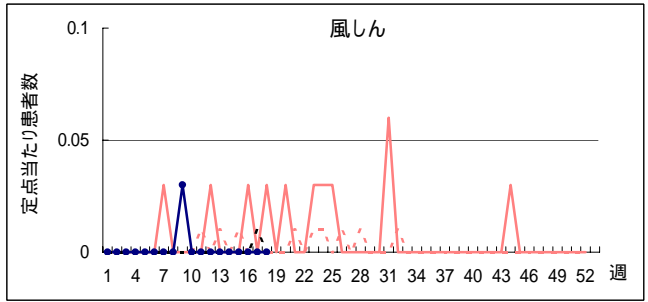
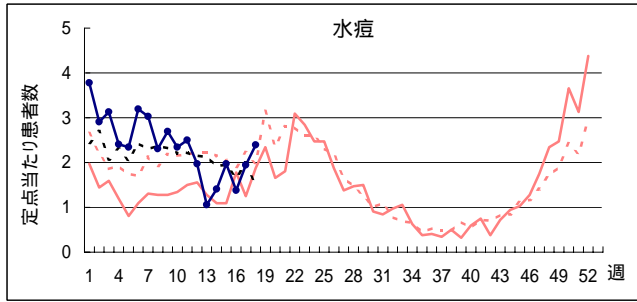
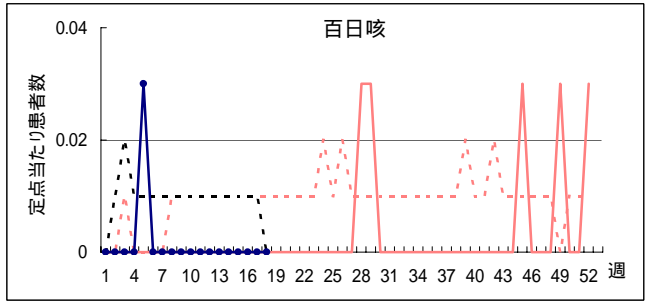
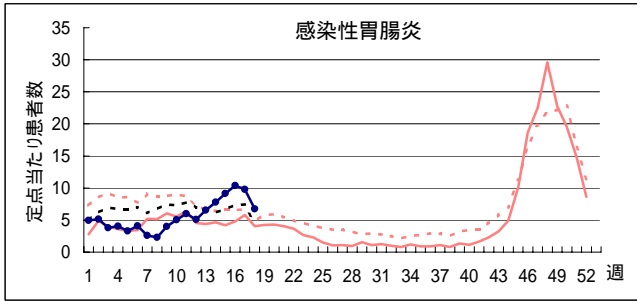
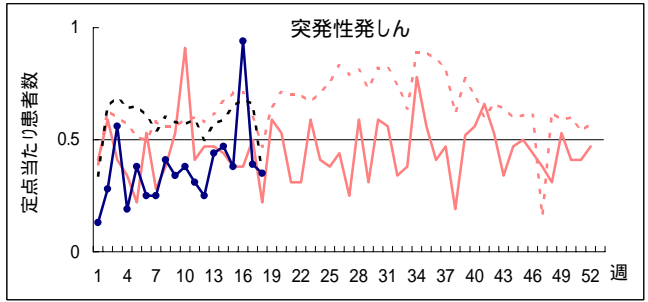
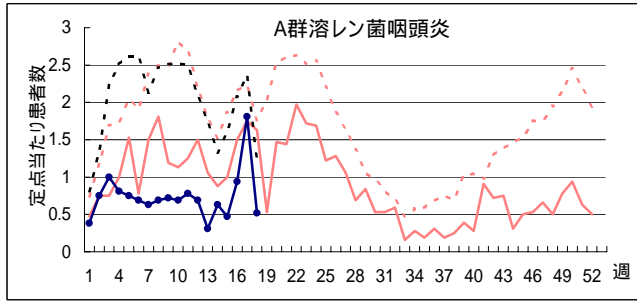
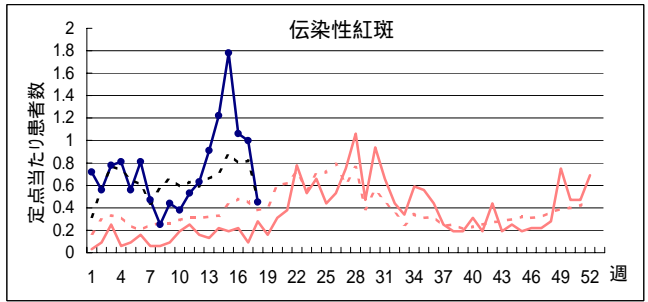
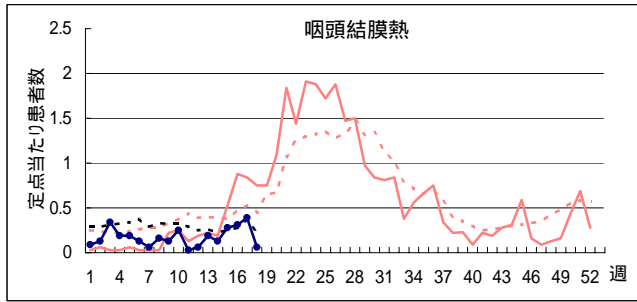
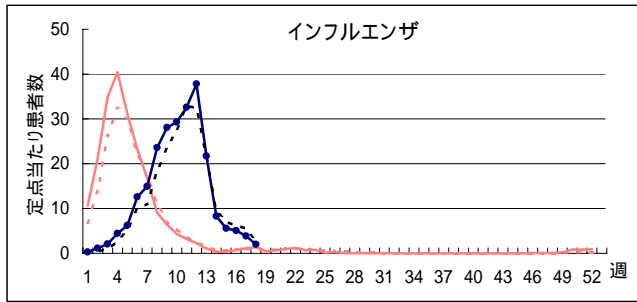
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

- インフルエンザ-----各保健所管内とも先週より減少しています。県全体の定点当たり患者数は2.00となり6週連続して減少しており、全国の発生状況と同様の傾向を示しています。
- A群溶レン菌咽頭炎----県全体では先週より大幅に減少していますが、長浜でやや多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----東近江および彦根で先週より増加しており、特に、東近江の定点当たり患者数は18.40と多くなっています。また、先週多かった甲賀ではかなり減少し、定点当たり患者数は6.00となっています。
- 水痘-----県全体では先週に引き続き増加し、大津および東近江でかなり多くなっています。特に、大津の定点当たり患者数は4.29となり流行発生注意報の発生基準値(4.00)を超えています。
- 伝染性紅斑-----県全体では先週より減少していますが、甲賀で先週に引き続き警報が発生しています。
- 流行性角結膜炎-----草津および甲賀から報告されており、草津でやや多くなっています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第18週、H19.1.1～H19.5.6)



# 疾病別定点当たり患者数(平成19年第1週～第18週、H19.1.1～H19.5.6)

H18  
 〔 滋賀 ————  
     全国 - - - - -

H19  
 〔 滋賀 ●—●—  
     全国 - - - - -

